

平成28年度ゆりかご・たいとう及び乳児家庭全戸訪問の実施結果について

1 事業目的

ゆりかご・たいとうでは、保健師等の専門職が妊婦に対して面接を行い、「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制」を強化し、孤立する子育て家庭の支援と乳幼児虐待の予防を図っている。

乳児家庭全戸訪問では、区内の概ね生後4か月未満の乳児のいる全ての家庭を、保健師および助産師が訪問している。産後うつ病の疑いや育児不安など何らかの支援が必要な母親や育児環境の確認が困難な家庭を対象に、関係機関と連携しながら支援を行っている。

2 実施状況

(1) ゆりかご・たいとう（平成28年度事業開始）

①面接実施数

平成28年度実績：1,620人

（実施場所）台東保健所・浅草保健相談センター

（実施率）84.3%

※実施率＝面接実施数（1,620）÷妊娠届出数（1,922）

ただし、平成27年度中に妊娠届出済で、平成28年4月1日以降に妊婦である場合も面接実施数に含む。

②支援状況

支援区分		人数（人）	割合（%）
継続支援不要		1,461	90.2
要支援		159	9.8
内 訳	保健師による支援	132	8.1
	日本堤子ども家庭支援センターへ連絡	27	1.7
計		1,620	100.0

(2) 乳児家庭全戸訪問

①訪問状況

(人)

	対 象	訪問対象数	訪問者数	未訪問者数
H25	H25.4～H26.3 生	1, 5 0 1	1, 4 4 0 (95.9%)	6 1 (4.1%)
H26	H26.4～H27.3 生	1, 6 4 3	1, 5 5 4 (94.6%)	8 9 (5.4%)
H27	H27.4～H28.3 生	1, 6 3 6	1, 5 7 4 (96.2%)	6 2 (3.8%)
H28	H28.4～H29.3 生	1, 6 3 9	1, 5 6 8 (95.7%)	7 1 (4.3%)

※未訪問者内訳 (平成 28 年度)

区外転出等 50 人、里帰り 1 人、乳児の入院等 1 人、母の復職 1 人、訪問辞退 18 人

②支援状況

(人)

	継続支援不要	保健所で 経過観察	要保護児童支援 ネットワークにて支援	計
H25	1, 0 8 7 (72.4%)	3 8 3 (25.5%)	3 1 (2.1%)	1, 5 0 1
H26	1, 1 6 0 (70.6%)	4 4 7 (27.2%)	3 6 (2.2%)	1, 6 4 3
H27	1, 1 3 9 (69.6%)	4 7 8 (29.2%)	1 9 (1.2%)	1, 6 3 6
H28	1, 1 3 4 (69.2%)	4 6 9 (28.6%)	3 6 (2.2%)	1, 6 3 9

※要保護児童支援ネットワーク

- ・児童福祉法に基づき設置。
- ・要保護児童及びその保護者を的確に支援するために必要な情報を共有し、支援内容等の協議を行う。
- ・関係機関の連絡調整の役割を日本堤子ども家庭支援センターが担う。